
平成22年度(第54期)第2四半期決算説明資料

(平成22年4月1日～平成22年9月30日)



平成22年11月25日

<目次>

1. 決算の概況

(1) 損益計算書、貸借対照表の概略	2
(2) 事業の取り組み内容について	3
(3) 売上高および営業利益の推移	4
(4) 品目別売上高の推移	5
(5) 収益関連指標	6
(6) 総資産・純資産	7

2. 今後の取り組みについて

(1) 経営環境	8
(2) 諸施策	9
(3) 業績の見通し	10

1. 決算の概況

(1) 損益計算書、貸借対照表の概略(連結)

(単位:千円)

	平成21年度 中間	平成22年度 中間	前期比(%)
売上高	4,003,176	4,751,301	118.7
営業利益	190,433	123,673	-
経常利益	109,923	104,956	-
四半期純利益	270,252	90,691	-

(単位:千円)

	平成21年 中間期末	平成22年 中間期末	増減
資産	8,289,236	8,976,758	687,522
負債	3,155,227	3,838,954	683,727
純資産	5,134,008	5,137,803	3,795
負債純資産	8,289,236	8,976,758	687,522

(2) 事業の取り組み内容について

・営業

- ・低消費電力となるDC(直流)ポンプおよびモータの拡販
- ・新規分野への市場開拓を進める。

・製造、購買

- ・生産レイアウトや部品払出業務の見直しを図り、生産効率を高める。
- ・生産管理プロジェクトの推進により、短納期生産体制を進める。

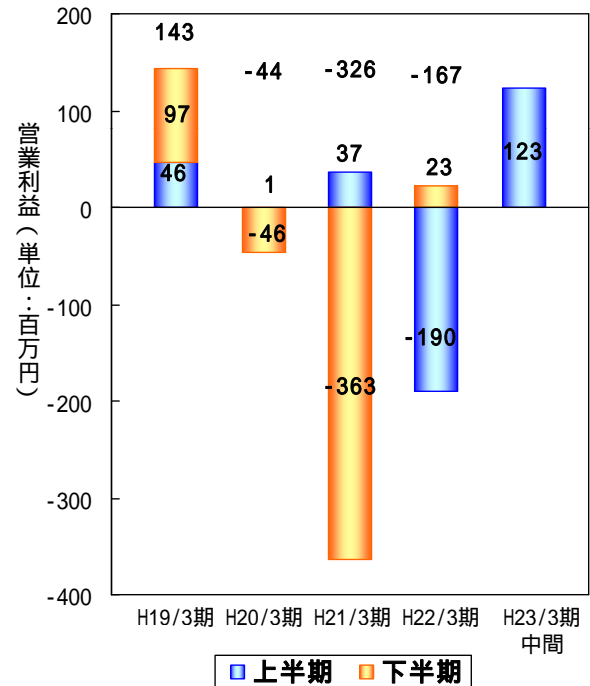
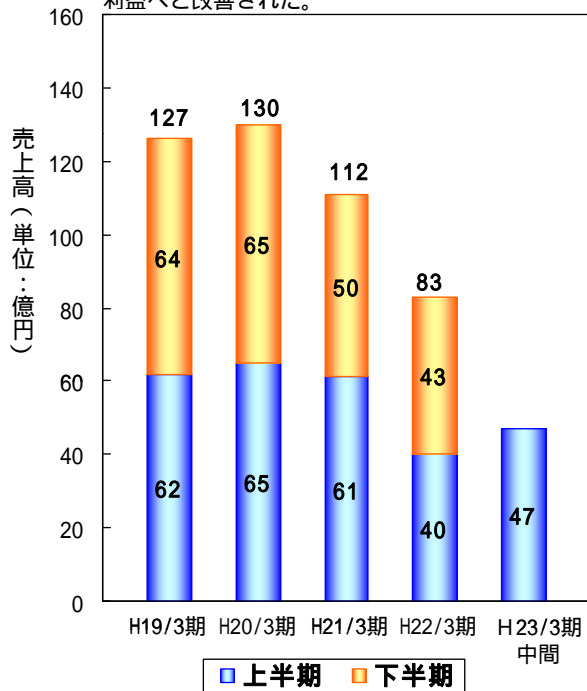


・研究開発

- ・環境にやさしい省エネ、低騒音の製品開発
(小型・低消費電力となるIPMモータの開発)

(3) 売上高および営業利益の推移(連結)

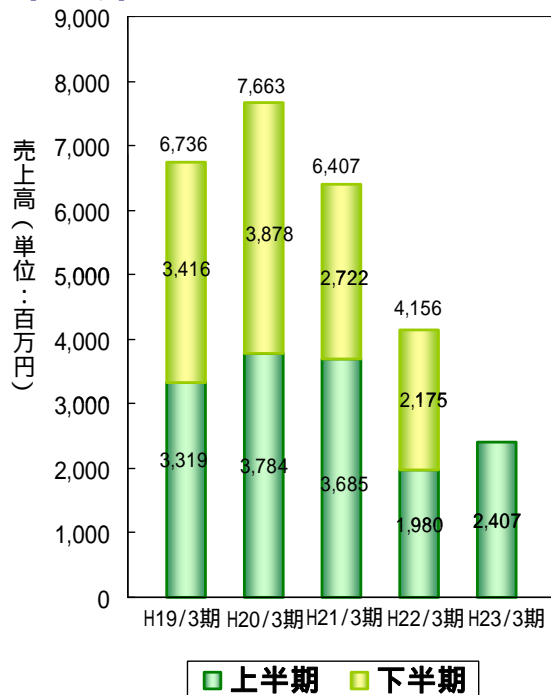
- ・売上高においては、大幅に落ち込んでいた工作機械業界の市場は徐々に回復、また半導体製造装置業界についても好況が続いたことにより、受注は増加に転じた。
- ・営業利益においては、受注増加に加え、昨年実施した早期退職者制度により固定費を圧縮することができ、営業利益へと改善された。



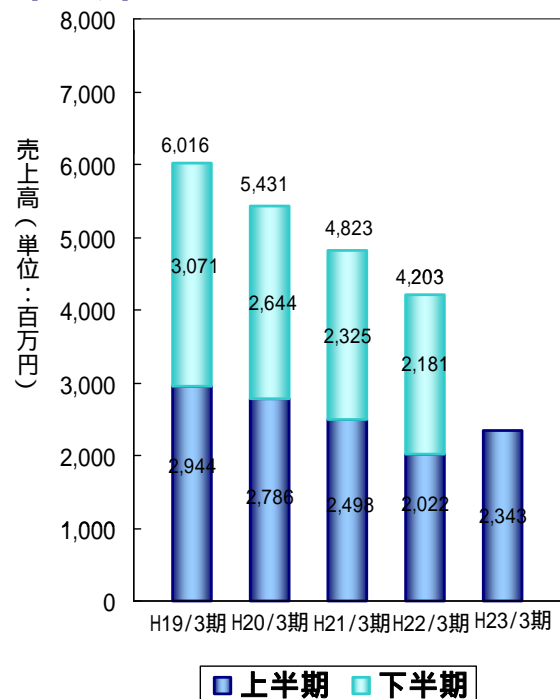
(4) 品目別売上高の推移(連結)

- ・モータでは、工作機械用モータの受注回復に加え、新製品のIPMモータ発売により売上高は増加
- ・ポンプについては、住宅設備関連のポンプの回復は鈍いものの、半導体製造装置用ポンプなどにより売上高は増加

【モータ】



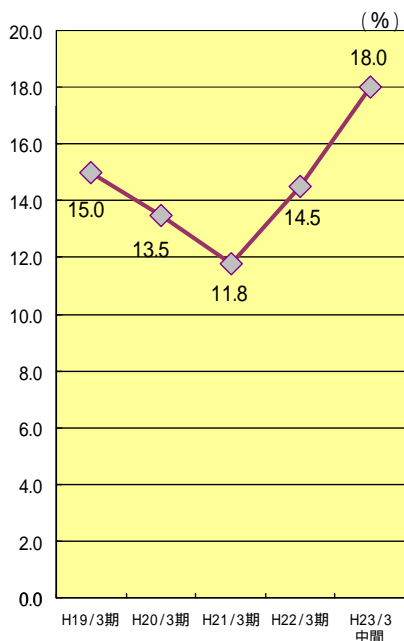
【ポンプ】



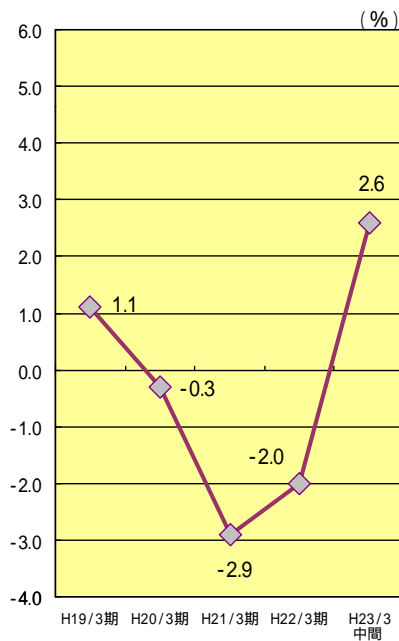
(5) 収益関連指標(連結)

- ・ 原材料が高値で推移するものの、昨年の早期退職者制度の実施により固定費を圧縮したことにより収益性を改善した。

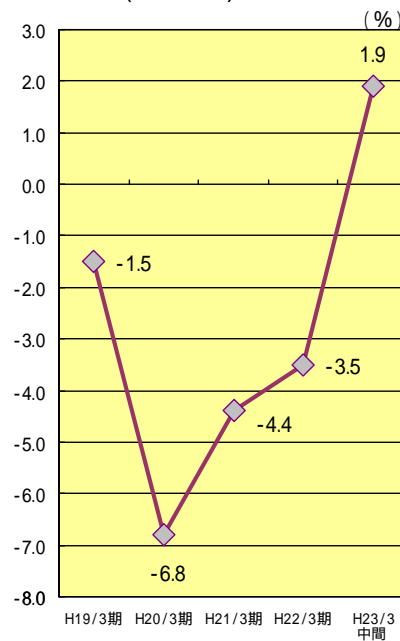
売上総利益率



営業利益率



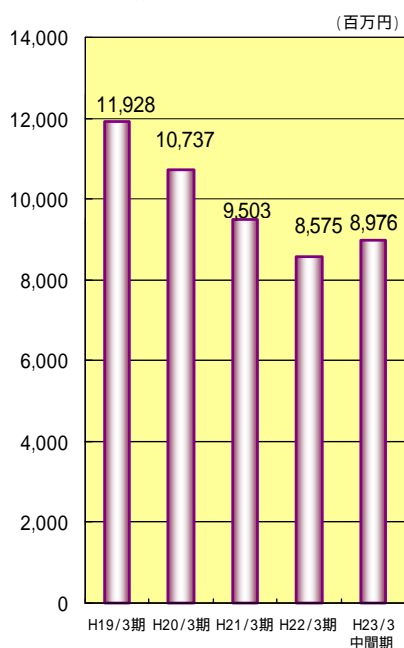
当期(四半期)純利益率



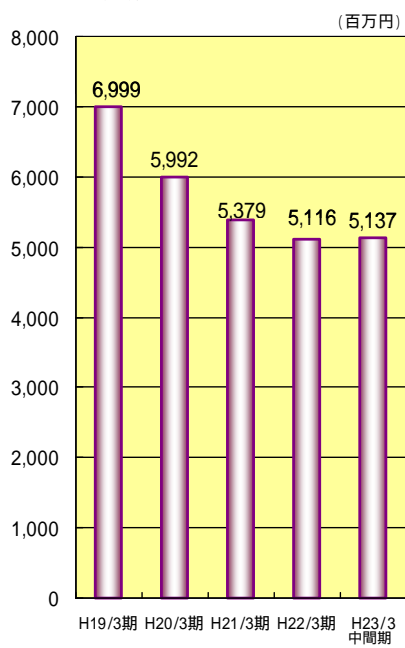
(6) 総資産・純資産(連結)

- ・ 資産については、主に売上高の回復により受取手形及び売掛金の増加による。
- ・ 負債については、主に仕入高の増加により支払手形及び買掛金の増加による。
- ・ 純資産については、主に四半期純利益の計上による。

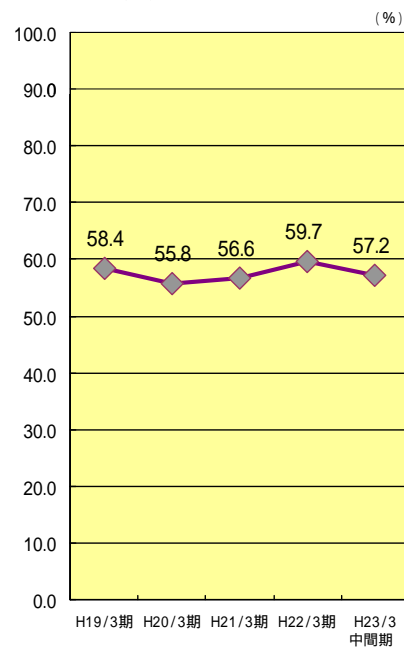
総資産



純資産



自己資本比率



2. 今後の取り組みについて

(1) 経営環境

経済状況

- ・海外経済や企業収益の改善などにより自律的な景気の回復が期待される一方で、海外景気の下振れ懸念や為替・株価の変動リスクが強まるなど当社を取り巻く環境は引き続き厳しい状況が続くものと考えられる。

業界動向

- ・空調設備業界では、国内外とも回復の兆しは弱く、総じて低調な推移となる。
- ・工作機械業界では、大幅に落ち込んでいた市場が徐々に回復。また、半導体製造設備業界では、引き続き好況が見込まれる。
- ・住宅関連業界では、エコキュートなど省エネ給湯器は堅調に推移するが、住宅着工件数が引き続き低迷していることから、床暖房などの設備は低調である。

(2) 諸施策

・ 営業

- ・低消費電力となるDC(直流)モータおよびポンプの用途提案を行い、新規市場を開拓する。

・ 製造、購買

- ・生産管理プロジェクトの運用により、製品の即納体制を構築する。
- ・グローバルな部材の調達を更に進め安定供給とコストダウンを図る。

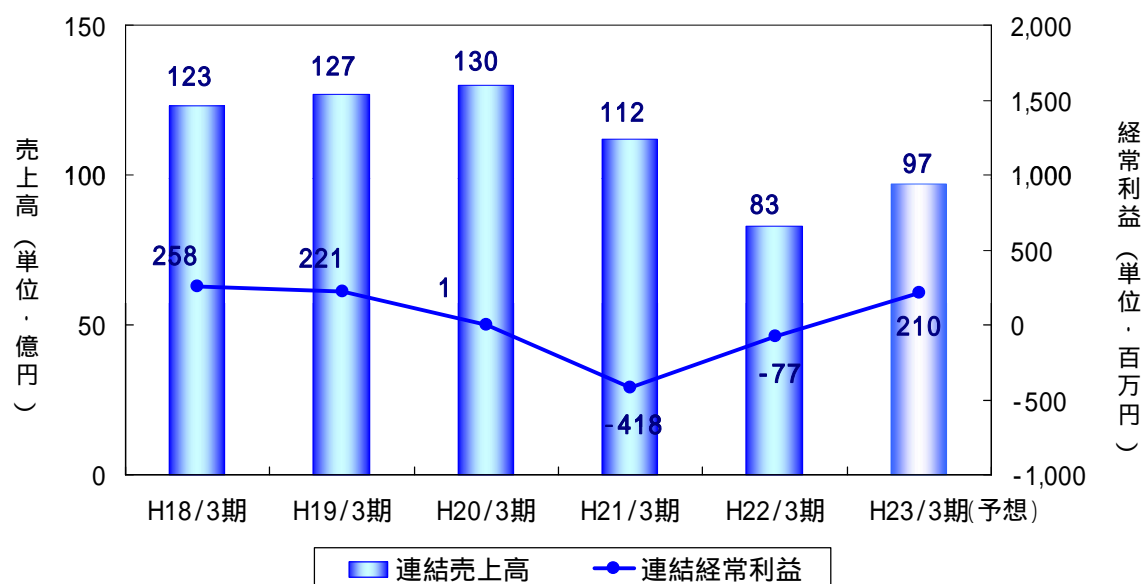
・ 研究開発

- ・マイクロバブル発生装置などの独創的な製品開発を行い、市場での優位性を築く。
- ・環境に適合した低消費電力のDC(直流)モータ・ポンプのシリーズ化を進め、市場のニーズに応える。



(3)業績の見通し

[売上高・経常利益のグラフ]



連結：売上高については、一部業界の回復に加え、新製品の受注等により、増収を見込む。利益面については、原材料のコストアップが見込まれるが、売上高の増加により増益を見込む。

おことわり

この資料に掲載しております将来の計画や予想数値については、現在（平成22年11月）入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであり、実績の業績などは、今後の様々な条件・要素によりここに掲載する内容と異なる場合がございます。

なお、この資料は、その実績を確約および保証するものではありませんのでご了承下さい。

お問い合わせ先

三相電機株式会社
統括管理部 経理課経営企画係
〒671-2288
兵庫県姫路市青山北一丁目1番1号
TEL 079-266-1200
FAX 079-266-1206
E-mail sanso@sanso-elec.co.jp